

大阪大学総合図書館におけるラーニング・コモンズを活用した学習支援の取り組み

<配布用>

久保山 健 (KUBOYAMA Takeshi)

大阪大学 附属図書館 利用支援課 (サービス企画主担当)

<October 6, 2011>

兵庫県大学図書館協議会 研修会

会場: 神戸女学院



本日の骨子

1. 自己紹介
2. 総合図書館ラーニング・commonsの概要
3. 総合図書館での学習支援
4. L.C.周辺のサービス、話題
5. L.C.は図書館内にあるべきか論について
6. 入館者数・貸出数増加を検証
7. 今後の課題: 結びに代えて

1. 自己紹介

◆久保山 健（くぼやま たけし）

◆現在の所属

大阪大学 附属図書館（総合図書館 / 豊中地区）

利用支援課 サービス企画主担当（6ヶ月+）

◆経歴

・3月までは情報推進部 情報基盤課（約6年）

・本学のラーニング・コモンズとの関わりは、IT
関連のお手伝い

(*）さらにそれ以前は： 図書受入、雑誌全般、図書の契
約、和漢書の目録

2. 総合図書館ラーニング・commonsの概要 (1)

(前提) 大阪大学附属図書館の構成

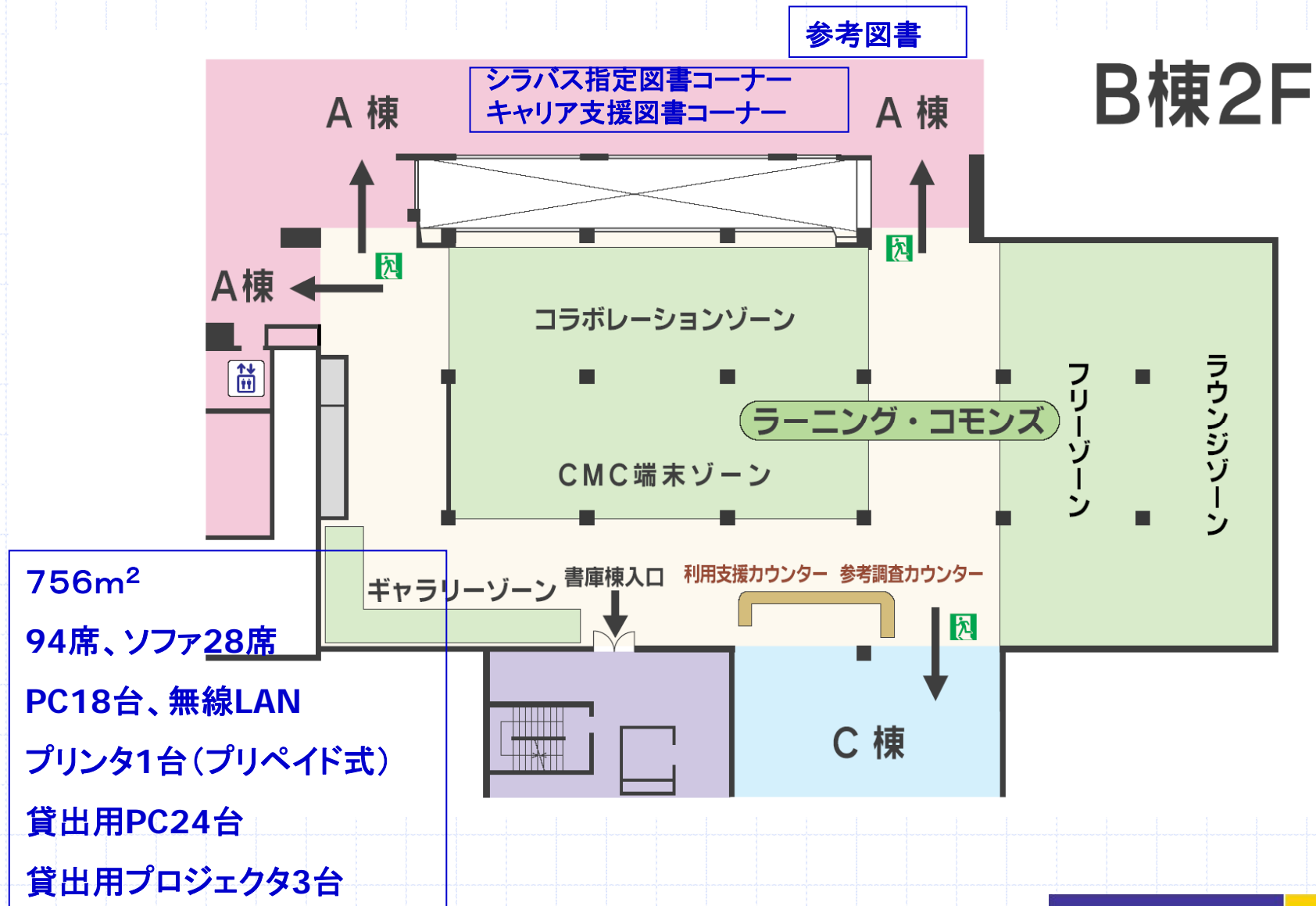
3 地区 (豊中・吹田・箕面)

4 図書館、5 部局図書室

○経緯

- “B棟”の耐震改修計画がきっかけ
- 2008年度 工事
- 2009.6. オープン

2. 総合図書館ラーニング・commonsの概要 (2)



[写真]



2. 総合図書館ラーニング・コモنزの概要 (3)

○ラーニング・コモنز整備前後の動き

2006.7 附属図書館長は総長の指名する副学長

(図書館委員会で承認) (従来は図書館委員の互選)

2007.4. 事務組織を再編

(係組織を班編制に変更。生命科学図・理工学図の受入・目録業務を総合図に集約)

2007.10. 大阪大学と大阪外国語大学の統合

外国学図の発足

2008 総合図・理工学図で耐震改修工事

3. 総合図書館での学習支援 (1)

○授業一コマでの「図書館活用法入門」

- ・ 主に1回生対象の必修科目「情報活用基礎」の一コマで「図書館活用法入門」を実施
- ・ 授業の初期段階にて
- ・ 体制：サービス系のスタッフを中心にしたWGメンバー＋α
(あるスタッフの例：講師3コマ、補助1コマ)
- ・ テキストのWeb掲載。品質確保、運営のしやすさ。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/others/tutorial/index.html>

3. 総合図書館での学習支援 (2)

○Teaching Assistant (TA)

- 大学院生 計6名（経、人、理、基礎工、工、
言文）； 25h/w (6名の合計)
- 学習相談、PC/ソフトの利用相談、ミニ講習
会、選書、文献リストの作成、レポート・論
文作成のアドバイス、
- 実績（2010年度）
講習会 8回、参加者 24名
対応件数 960件

3. 総合図書館での学習支援 (3)

○教員と連携した学習支援

(a) レポートの書き方講座 (2010.6, 2011.6)

- 主に1回生を対象

2010 : 全3回、延べ47名参加

2011 : 全3回、延べ59名参加

- 内容 : (次のスライド)
- 背景 :
- 参加人数の増加 : 広報? ニーズ? 場所?
- アンケート結果(2011) : 全体の合計で「とても役に立つ」が約半数 (一方、回毎に減った参加者...さすがに増えてたりしないでしょうが)

好評につき、
今年も開催！

レポートの書き方講座

(全3回)

レポートを書くときに、何から手をつけてよいのか、どう書いたらいいのかわからなくて困っていませんか？ 実習を織り交ぜたこの連続講座で、レポートを書く際の基本的な考え方や手順を身につけましょう。

【第1回】 6月13日（月） 5限（16:20～17:50）

テーマ：「まずは形から入ろう」

レポートの形式の整え方、Wordの基礎を学びます

【第2回】 6月20日（月） 5限（16:20～17:50）

テーマ：「最低限のルールを守ろう」

資料の探し方、引用の仕方、参考文献の書き方を学びます

【第3回】 6月27日（月） 5限（16:20～17:50）

テーマ：「よりよいレポートにするために」

論の構成や展開方法について学びます

場所： 総合図書館(豊中)
B棟2F ラーニングcommons

講師： 堀 一成 准教授(大学教育実践センター)

対象： 学部1年次生（※希望があれば1年次生以外も可）

定員： 各回 20名（事前申込制、部分参加可）

備考： ノートパソコン持参のこと(MS-Word必須)



参加希望者は、氏名・所属・学年・参加回を明記の上、下記までメールにてお申込ください。

申込先 [sogo-kouza\[at\]library.osaka-u.ac.jp](mailto:sogo-kouza[at]library.osaka-u.ac.jp)

※先着順で定員になり次第締切とします。



総合図書館 利用支援課 サービス企画 主担当/久保山 TEL:06-6850-5056



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (4)

○教員と連携した学習支援

(b)論文の書き方/文献の読み方プチゼミナール
(2010.12～2011.1)

全4回、延べ18名参加

教員と図書館スタッフの協同

3. 総合図書館での学習支援 (5)

○教員と連携した学習支援

(c) 実現できなかったN先生事例(2011.7)

背景

経緯

内容は全く決まっていなかったが...

3. 総合図書館での学習支援 (6)

○授業でのラーニング・コモンズの利用

- 共通教育科目「基礎セミナー・図書館パスファインダーをつくろう」
- 期間 2011年度前期, 全13回
- 受講生 3名 (公開講座受講の高校生 2名を含む)
- 授業の概要

(*) 2010年度は、後期に2コマの利用



3. 総合図書館での学習支援 (7)

○授業でのラーニング・コモンズの利用

- ・ 図書館としてのサポート内容

授業等での利用規程の作成

場所の確保、実習時などの補助など

- ・ 成果物

ワニの本棚（図書館パスファインダー）： 「菅原道真って誰？」

<http://www.study-aid.net/contents/manabi-box/wani-bookshelf.html>

ワニの本棚（高校生版）： 「表現規制問題って？」 「ハンゲルっ

てどんな文字？」 <http://www.study-aid.net/contents/manabi-box/wani-bookshelf-hschool.html>

3. 総合図書館での学習支援 (8)

○図書館スタッフによる「ミニ講習会」

- ・ 初心者向け講習会「論文を入手しよう！」
(2011.6月、同一内容を2回開催、45分)

- ・ DB講習会の開催期間中に実施

- ・ 参加者：①10名 ②13名

- (1) 論文を収集し、読む意味とは?
- (2) 論文を探す方法
- (3) 書誌情報から論文を入手しよう
- (4) 論文DBを使ってみよう



○後期にスタッフやTAによる「オンデマンドミニレクチャー」を企画中

3. 総合図書館での学習支援 (9)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

- ・ 個人的見解

環境や役割の変化

”理想”だけでなくニーズに応える

3. 総合図書館での学習支援 (10)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか



3. 総合図書館での学習支援 (11)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか



3. 総合図書館での学習支援 (12)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

- 図書館「が/で」すべきか
- 学内パブリックな場所の一つ
- 教育研究支援を行う組織と言うなら
- 「強み」は? 資料? 場所? PC? NW環境? スタッフ? TA?

4. L.C.周辺のサービス、話題 (1)

○関連コーナー

- ギャラリーゾーン（展示ケース、ピクチャーレール）
- 特設コーナー（学生選書からスタート）
2010.10～



4. L.C.周辺のサービス、話題 (2)

・ シラバス指定図書コーナー 2011.3～

- 全てのシラバス指定図書ではない。2011年度は、当年度に追加された図書を2冊。
- リストの提供や、全ての図書の配置等が課題。



4. L.C.周辺のサービス、話題 (3)

- ・ キャリア支援図書コーナー 2011.8～

- ・ キャリア支援課との
コラボ



4. L.C.周辺のサービス、話題 (4)

- ・ 図書館コースリザーブサービス ;
International College 対象 2011.10~
- ・ ○△コモンズ!? 今年度?

- ・ 最近興味を引いた事例

(東北大学附属図書館)

英語の多読法とリーダーズコーナー (本館1階 メインフロア)

<http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/main/pub/readers.html>

高等教育開発推進センター講師が問い合わせ先に

4. L.C.周辺のサービス、話題 (5)

○場の活用、コラボの広がり

- OPUS+ (オーパス) 映像コンテスト
- English Cafe
- ポスタープレゼンテーション (工学英語Ⅱ)

*) 2-3つ目は理工学図書館。図書館報 45(1) 2011.8 P.4 参照

- 開かれた図書館というイメージが作られたから？
- 他部署とのコミュニケーションのきっかけになる

4. L.C.周辺のサービス、話題 (6)

○IT(PC)支援 <軽く>

かつてはコンピュータ室の場所の提供

今はサービスの一部

サポート体制の不備？ サービスの位置付け

PCのログオン時間

大学教育実践センターIT支援窓口とコラボ!?

教室・分散端末別1日1台あたりの平均利用時間(月毎) (*)情報教育システムの数値

5. 教室・分散端末別1日1台あたりの平均利用時間(月毎)

(時間) 0 2 4 6 8 10 12 14

豊中教育研究棟

- 情報教育第1教室
- 情報教育第2教室
- 情報教育第3教室
- 情報教育第4教室
- 情報教育第5教室

附属図書館

- 総合図書館
- 生命科学図書館
- 理工学図書館

人間科学部 計算機室

理学部 B214

医学部 講義棟

医学部 病棟

医学部 保健学科

歯学部 C-313A

薬学部 217

工学部 GSEコモン棟

- 04月
- 05月
- 06月
- 07月
- 08月
- 09月
- 10月
- 11月
- 12月
- 01月
- 02月
- 03月

サイバーメディアセンター年報
 2010年度版 No.11から引用



大阪大学
 OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (7)

○設備について補足 <軽く>

- ソファは置くべきか
- アメニティ向上や飲食、自販機、カフェテリア
- 電源コンセント
- OAフロア的设计



4. L.C.周辺のサービス、話題 (8)

○飲食について

- 阪大図書館のルール

- フタ付き飲物はOK

但し、ラウンジコーナーではカップ飲料も可

- 食： 全て不可

- 自動販売機

カップ式の自販機 (ラウンジコーナー)

ペットボトルの自販機 (東出入口の脇)

- 課題：ルールをユーザに伝えられていない。

共有できていない

4. L.C.周辺のサービス、話題 (10)

○飲食について：2009～2011のポスター

飲食について 館内の美化にご協力いただき、 ありがとうございます。	
フタの できる飲物 A screw-top or spill-proof bottle is OK in the Library.	
フタの できない飲物 A pack or cup without cap is NOT permitted in the Library.	
食べる Eating food is NOT permitted in the Library.	

大阪大学 総合図書館 2011 

4. L.C.周辺のサービス、話題 (11)

○飲食について

- ・ 資料保存の観点？
- ・ 建物管理の観点？ におい？
- ・ ユーザのベネフィットは何？

皆さん、残業中に... ？

・ 北米での事例

・ 「図書館内のカフェテリアのこと」

http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/a1f3567c5e02d00e5b3ec77d9c2d58c3

4. L.C.周辺のサービス、話題 (12)

○飲食について

- アメニティの観点も交え、もう少し柔軟に考える余地はあるのでは?
- 場所を限定する
- 周辺環境も考慮した上で
- 飲食文化の違いはある

5. L.C.は図書館内にあるべきか (1)

○理論的、ないし政策動向はさておき...

報告書を後ろ盾に？

○本質的な問題でないような...

○いくつかの視点

- よく使われている印象
- ユーザからの苦言？ 雑談スペース？
("Student Commons"との対比)
- 比較的パブリックな場所

※それ以外のパブリックな場所ではなく、図書館である理由は？

5. L.C.は図書館内にあるべきか (2)

○雑談スペース？

- 1回だけ観察調査をしてみた
 - “質的調査”!?
 - “証言”を客観的に評価する努力
 - 結果は...
- 多少は雑談、気晴らし、情報交換という場になる側面も認識した上で、観察したらどうなるか
例)「あさっての〇〇のテスト、どう？」とかいう会話は起こりうる。

5. L.C.は図書館内にあるべきか (3)

○ Sheffield大 (UK) の Information Commons

<http://www.sheffield.ac.uk/infocommons/index>

図書館から徒歩数分のところにあるらしい

○ University of Guelph (CAN)

<http://www.learningcommons.uoguelph.ca/>

興味深いURL

5. L.C.は図書館内にあるべきか (4)

○個人的見解・理解

- 資料の電子化・NW化
 - 来館ニーズの相対的減少
 - 場所の新たな活用法
- 基本的にポリシーの問題!?
- 学習支援も求められるなら、提供する
- マンパワー/予算は経営の問題だが、新規事業であるなら、既存業務の簡素化・効率化も。
 - #学習支援とはどこまで行うべき?
- 目標と手段の底上げ
 - #ラーニング・アドバイザーが教育実践センター、文学部等にも...

6. 入館者数・貸出数増加を検証(1)

○(その前に)歴史の振り返り

2007.10. 大阪大学と大阪外国語大学の統合

2008年度 貸出数の上限を拡大 (8→16冊)

総合図書館で耐震改修工事

2009年度(5月) 総合図書館の開館時間延長 (授業期)

平日：21時→22時 土日：17時→19時 祝日：新規(10-17時)

(6月) 総合図書館L.C.オープン

2010年度(12月) 総合図書館で早朝開館の試行

(8:40開館、授業期間) *)2月まで

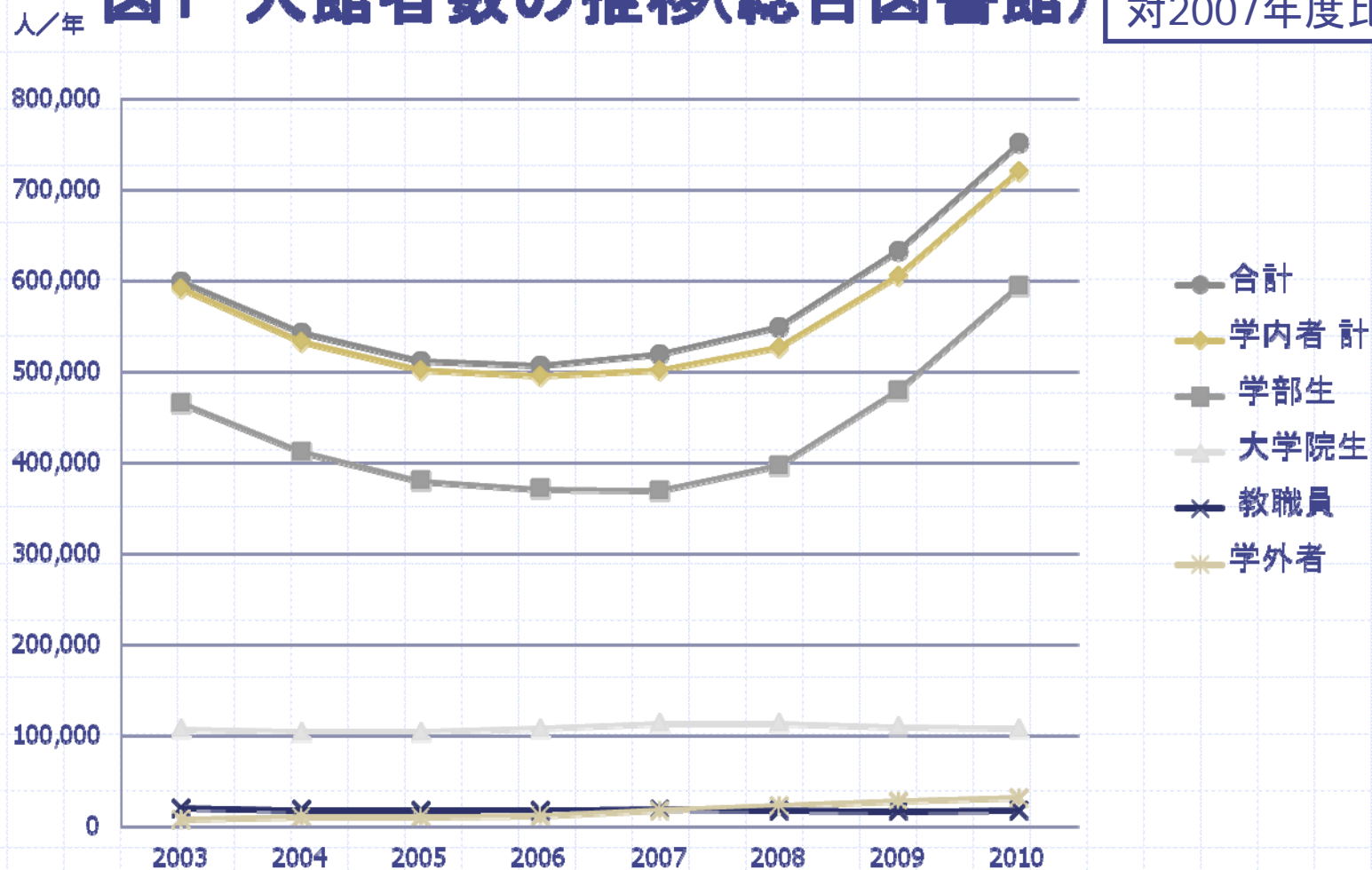
2011年度(4月) 総合図書館で早朝開館の実施

(8:00開館、授業期間)

6. 入館者数・貸出数増加を検証(2)

図1 入館者数の推移(総合図書館)

2010年度の
対2007年度比



6. 入館者数・貸出数増加を検証 (3)

○入館者数増加の評価

- ・ 3年間で1.61倍(学部生)の伸びは大学統合効果を超えていると判断
- ・ "学内入館者数／開館総時間数" の値も、1.30
- ・ L.C.効果 が大きいことは間違いないだろうが...
 - 同エリアの座席数は全体の1割にも満たない
 - ＞ 全体的な整備による機能の充実
 - ＞ 従来からの利用者のための静かな環境の確保
 - ＞ いくつもの学習環境整備の取り組み
 - ＞ 関連部署との連携
 - ＞ 開かれた図書館というイメージ発信

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (4)

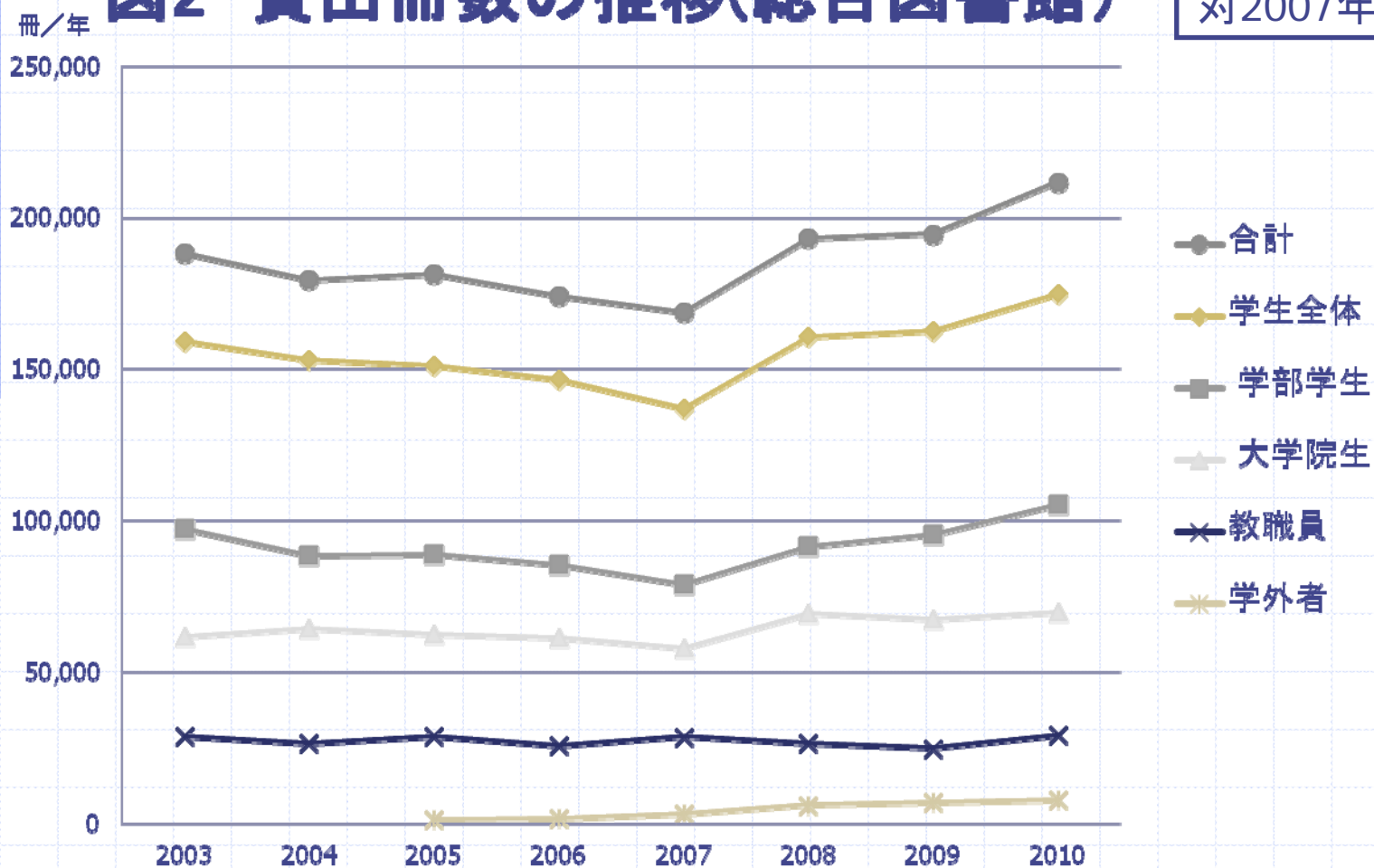
○入館者数増加の評価

- あるいは、単なる新築効果!?
- 一方、大学院生・教職員については、微減
 - 非来館型利用にシフトしたことが大きいと推測
 - 自習型のユーザをカバーできていない懸念?
- 実入館者数の増加は不明

6. 入館者数・貸出数増加を検証(5)

図2 貸出冊数の推移(総合図書館)

2010年度の
対2007年度比



6. 入館者数・貸出数増加を検証 (6)

○貸出数増加の評価

- 人が集まったほど本を借りる学生が増えたわけではない!?“貸出冊数／入館者数”の指数は 0.83
#分母が「ゲート通過人数」だとすると...
- 資料整備が追いついていない? 館内で資料を利用する傾向??
- 大学院生：貸出冊数の上限増加の2008年に急増し、その後は横ばい＝上限変更が大きな要因

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (7)

○それらの推移から見えてきたもの

- 場所としての総合図書館は、”学部生向け学習用図書館の性格”が強くなりつつある
- ”場所としての利用”が相対的に増えたことが推測
- 座席数の変化：2010年度の対2007年度比は 1.04
- 学外者の数値が率としては最大の伸び

7. 今後の課題：結びに代えて

○議論できる座席の増加

○学習支援の取り組み

図書館スタッフのスキル確保、

「商品化」「事業化」も

(*)他部署の学習支援担当の把握も

○アメニティ、学習しやすい空間作り

○空間デザイン力

○3年目を迎えたL.C.をどうしていくか

参考資料

- ・上原恵美. 大阪大学のラーニング・コモンズにおける教員やTAとのコラボレーション（これからの図書館を考える-琉球大学附属図書館ワークショップ. 2011年2月17日）

[http://ir.lib.u-](http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/123456789/18848/1/20110217_uehara.pdf)

[ryukyu.ac.jp/bitstream/123456789/18848/1/20110217_uehara.pdf](http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/123456789/18848/1/20110217_uehara.pdf)

- ・上原恵美, 赤井規晃, 堀一成. ラーニング・コモンズ:そこで何をするのか、何がやれるのか. 図書館界 63(3) 2011.9